

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2019.10

vol.

59

巻頭インタビュー

富士山を学び 環境保全の意識を育む

ふじさんネットワーク副会長 / NPO法人ふじ環境研究所所長

山田辰美さん

令和元年度 ふじさんネットワーク総会・講演会開催

令和元年度 富士山エコレンジャー連絡会総会と富士山エコサポーター募集のお知らせ

富士山をみんなでキレイに! 令和元年度第1回ごみ減量大作戦

富士山を外来種から守ろう! 令和元年度第1回外来植物撲滅大作戦

富士山の恵みを体験しよう! 柿田川自然観察会

富士山の草原を守ろう! 富士山草原性植生保全活動体験会



巻頭インタビュー

富士山を学び 環境保全の意識を育む 山田辰美さん

ふじさんネットワーク副会長
NPO法人ふじ環境研究所所長

二面性が魅力の富士山

ふじさんネットワークに入会したのは、富士山周辺での環境活動を団結させ、二つの方向に向ける役割を頼みたいと県から依頼があったことが発端です。私自身、富士山とは長年の関わりもあり、大きな環境保全活動の必要性を感じていたので、入会しました。

生態研究だけでなく、2000年からは、富士常葉大学（現…常葉大学）として富士山の自然林復元活動に参加して来しました。さらに、世界遺産登録への新しい機運もある中で、富士山に関する様々な研究を学際的な学問として展開しようとして杉山恵二先生と富士学会を立ち上げました。私は、富士学というものものは、富士山のように裾野が広く、地域に根付いたものでないといけないと考えています。富士山を誇らしく思う静岡県民が、その魅力を知ることにより愛着を持てると思いい、ふじさんネットワークに関わっています。

富士山は、唯一無二の存在ではありませんが、見る角度によって表情が全く違うのです。火山側線はしなやかで、緩やかな広い裾野から次第に立ち上がり、やがて屹立し、頂上に



達する、その美しさ故に唯一無二の山だと言われます。しかし、間近に見ると、その裾野にはガリー（雨裂）の発達した急な崖もあり、溶岩でこつこつとした荒々しい山でもあり、遠くから眺めた印象と全く違う。この二面性もまた富士山の魅力です。そのような富士山を自分なりに極めたいと思い、富士山と関わってきました。富士山はみんなの山であり、人それぞれに少しずつ異なる「俺の富士」があると思います。みんなの富士山を大事にするにはどうしたらいいかと考えています。

私は、生態学者であり、特に水生生物が専門です。標高1000m以上の富士山には、まとまった水辺がありませんが、そこにこそ富士山の秘密が隠れていました。川も池もない所に、一時的な水域として、プラスチックの桶やシートで浅いプールをつくってあげると、水の匂いを嗅ぎつけてカエルが



富士山を守ることは 森を守ること

たくさん集まります。実は富士山の森には水辺で繁殖するカエルがたくさんいるのです。富士山の自然環境は、専門的な目でよく見ないと、どういう生き物が自然を支えているのかわかりません。私はいまでも、富士山の自然に詳しい人に聞いたり、案内してもらったりすることで、多くの有益な情報を得ることができています。

富士山を守る方法って何だろうと考えた時に、森を守る事が最も有効だと思えます。富士山の標高が高い場所には永久凍土があり、地盤はしっかりしているが、標高3000m

美しい富士山を、未来の子どもたちに

ふじさんネットワーク

FUJISAN NETWORK

2019.10

vol.

59

CONTENTS

[巻頭インタビュー]

富士山を学び 環境保全の意識を育む

ふじさんネットワーク副会長/NPO法人ふじ環境研究所所長 山田辰美さん

05 令和元年度
ふじさんネットワーク総会・講演会開催

令和元年度 富士山エコレンジャー連絡会総会と
富士山エコサポーター募集のお知らせ

06 富士山をみんなでキレイに!
令和元年度第1回ごみ減量大作戦

富士山を外来種から守ろう!
令和元年度第1回外来植物撲滅大作戦

07 富士山の恵みを体験しよう!
柿田川自然観察会

富士山の草原を守ろう!
富士山草原性植生保全活動体験会

08 「ふじさんネットワーク」
会員募集中!

表紙の写真



出典『MIXA IMAGE LIBRARY 100 PHOTOS Vol.139』
撮影場所：御殿場市 撮影時期：9月

富士山憲章（行動規範）

- 1.富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 1.富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 1.富士山の自然環境への負担を減らし、人との共生を図ろう。
- 1.富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 1.富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

令和元年度 ふじさんネットワーク総会・活動報告会

6月15日(土)に富士市文化会館ロゼシアターにおいて開催されました。総会には委任状を含めて154団体が出席し、正会員の過半数を超えたため、有効に成立しました。議長は増澤武弘会長が選出され、平成30年度の収支決算、令和元年度予算等のすべての議案について承認されました。総会終了後、平成30年度途中に登録した富士山エコレンジャー1名及びエコサポーター4名を紹介し、その後、令和元年度新規富士山エコサポーター1名に登録証が授与されました。

活動報告会では富士山自然誌研究会の菅原久夫会長を講師に迎え、平成29・30年度にふじさんネットワークの補助金を活用して行った富士山の植生調査について報告いただきました。報告では、富士山における外来植物の確認

や、その植物は人が往来する道沿いに確認でき、人為的な影響がある可能性が指摘されました。聴講者からは外来種定着の可能性や外来種の定義等について

質問があり、会場が一体となって富士山の環境問題を考える場が形成されていました。

写真は活動報告会を聴講する会場の様子



令和元年度 富士山エコレンジャー連絡会総会と 富士山エコサポーター募集のお知らせ

総会と同日、同場所において、富士山エコレンジャー連絡会の総会及び研修が行われました。総会では、吉永耕一代表幹事が議長に選任され、新たに富士山エコサポーター1名が加わったこと、来訪者に対するお願いの姿勢を基本として富士山憲章の行動規範の実践に努めたい旨のあいさつがありました。平成30年度事業報告及び令和元年度活動予定等の議案はすべて承認され、役員

改選では、吉永代表幹事のほか4名の幹事が選任されました。

総会終了後の研修会では、主に富士山エコサポーターを対象に富士山エコレンジャー等の「活動の基本」を学ぶと共に、相互の連絡手段であるメーリングリストの使用方法等について確認を行いました。

富士山エコレンジャー連絡会では、年間を通してエコレンジャーの候補生であ

るエコサポーターを募集しています。応募にはふじさんネットワークの正会員の推薦があり、満年齢が19才～70才である等の要件があります。富士山の自然環境保全やマナー啓発活動に興味のある方は、是非、事務局までお問い合わせください。

写真は富士山エコサポーター登録式(左)とエコレンジャー連絡会総会(右)



富士山を 自然への興味の 入口にする環境教育

平成11年にふじさんネットワークが設立されましたが、私は平成19年

以下では、土質がもろく、風化作用を受けて崩れやすいのです。雨水が地表を表流水として流れると、裸地だけでなく植林地の中にもガリーが発達して谷ができ、山体を傷つけています。また、近年、森の自然を脅かしているのは鹿であると認識し、森林管理署と共同研究の協定を結び、一緒に鹿から森林を守る活動にも力を入れています。ヒノキの年輪調査から鹿の食害が60年程前から始まっていたと分かってきました。富士山の鹿は伊豆の鹿に比べて、大きく脂がのっている。仮説ですが、富士山麓の連続した森林の中で季節によって食物となる植物が繁茂している標高を選び、移動するようです。標高1400mほどの自然林でカメラトラップによって調査した結果、出現した中・大型動物の内、約88%が鹿でした。増え過ぎた鹿によって、林床の植生や昆虫類までが影響を受け、いびつな生態系になっています。

以降副会長として仲間と共に富士山の魅力を発信しています。私自身、環境教育の発信や実践に関わり、ふじさんネットワークで発刊する「富士山からの挑戦状」という冊子作成に携わっています。これは主に小学生を対象とした教材であり、富士山の自然に関する興味ある話題をイラストや写真を使って紹介してあります。3択の旗揚げアンケート方式の問いから各項目が始まっており、知識が無い人でも楽しく学習に参加できるような構成になっています。じゃけん方式で答える問いによって、みんなと一緒に分かり易く学べます。この冊子は富士山から自然の理(ことわり)を学んでもらいたいという考えで作っており、中には、事情通でないと知らない質問も盛り込んでいます。この冊子を用いた授業を通じて、富士山に興味を持ち、自然や野生生物について知ってもらえたら嬉しいのです。令和元年5月には、「NPO法人ふじ環境研究所」を立ち上げました。これまで続けてきた森林保全活動や研究活動、自然観察会や冊子の作成など、ふじ環境研究所で担っていたらよいと思っています。

富士山保全が広く市民を巻き込んだ活動になるために、それぞれの世

これからの ふじさんネットワーク

世界文化遺産に登録された後、登山者に1,000円の富士山保全協力金の負担をお願いして来ましたが、多くの人が協力してくれるようになりました。みんなが世界の宝物になった山であるという誇りを持ち続けてほしいです。富士山はいつの間にか気軽に行ける山になり、来訪者が増加・多様化するにもなると俗化し品位が落ちてしまいました。日本人にとって遙拝や登拝の信仰の対象として大切な山であるということ忘れてはいけません。

そこで、信仰の要素を少し取り

代が問題意識を持つことと、やりたえを感じてもらうことが重要です。例えば、森林保全が持続的に推し進められるため、一般市民だけでなく学校や企業などと連携することが可能か、そのためにはどうしたらよいか、色々考えて環境教育を仕掛ける必要があります。ふじさんネットワークとしては、その仕組作りや、富士山活動に参加する若年層獲得への効果的な取り組みの検討にも力を入れてほしいです。



山田 辰美 (やまだ たつみ) 氏

1952年生まれ。常葉大学名誉教授。専門は応用生態学で「ビオトープ」を日本に広めた一人。特定非営利活動法人「里の楽校」理事長、特定非営利活動法人「ふじ環境研究所」代表など。平成19年度よりふじさんネットワークの副会長を務める。富士山を窓口とした環境教育に熱心に取り組み、子ども向け・企業向けの講座などを実施している。「富士山自然大図鑑」(静岡新聞社)、「ビオトープ教育入門」(農文教)、「自然遊び入門」(静岡新聞社)など。

入れて保全意識を喚起するのも効果的かもしれません。例えば、改めて白い絆纏(はんてん)を富士登山の正装に認定し、白い鉢巻と杖の登山を推奨する。昔の登拝のスタイルがファッションになるように働きかけ、

行としての登山が普及したら面白いと思います。多くの人が郷土の自然に関心を持ち、日常会話で富士山の話題が上がるような地域社会を作る発信源に「ふじさんネットワーク」がなっていたら素晴らしいと思います。

富士山の恵みを体験しよう! 柿田川自然観察会

8月17日(土)に、柿田川において自然観察会を実施しました。案内役は例年同様、公益財団法人柿田川みどりのトラスト、柿田川自然観察の会にお願いをしました。柿田川は富士山からの恵みである湧水によって形成され、その水温は年間を通して約15℃で一定であり、水位の変化も少なく、貴重な動植物が残存しているとともに、飲料水、工業用水等に利用されている、かけがえのない自然です。

家族を対象に募集し、15組48名の方々に御参加いただきました。開会式で

は、柿田川みどりのトラストの漆畑会長(ふじさんネットワーク副会長)から、柿田川の成り立ちや観察する動植物の説明が説明された後、同会会員からミシマバイカモ等の貴重な植物は採取しないことや、捕まえた動物は最後に必ず逃がすこと等の説明がありました。

参加者は実際に柿田川に入り、タモやバケツ等を使用して観察を行い、後半には実際に採取したウツセミカジカやサワガニ、アサヒナカワトンボのヤゴなどが入った水槽を囲んで、特徴の説明等が行われました。参加者は水槽内に手を



伸ばし、直接動物に触れたり、水槽の前で記念撮影をしたり、柿田川の自然にふれました。

写真は事前説明(左)、観察会(上、中央下)、捕まえた動植物の説明(右下)



富士山をみんなでキレイに! 令和元年度第1回ごみ減量大作戦

ふじさんネットワークでは、静岡県、地元市町及び静岡第一テレビ24時間テレビチャリティ委員会と共催で、「ごみ減量大作戦」を実施しています。本年度は6月22日(土)に富士市において第1回目が行われました。公募されたボランティア75名が、富士山こどもの国周辺の国道469号線沿道等において清掃活動を実施し、可燃ごみ100kg、不燃ごみ80kgの計180kgを回収しました。一人当たり約2.4kgのごみを回収したことになり、富士山の自然環境保全に貢献

することが出来ました。

ごみ減量大作戦は今回で29回目となり、参加ボランティア数は延べ1,921人、累計ごみ回収量は12,540kgとなりました。この取組は富士山周辺のごみを減らすと共に、参加ボランティアの方々に環境保全を考えていただく貴重な機会にもなっています。ふじさんネットワークでは今後もこの取組を継続して実施する予定であり、本年度は、10月に裾野市、2月に富士宮市で開催します。

写真は参加したボランティア(左)、作業時の様子(右下)、回収したごみ(上)



富士山の草原を守ろう! 富士山草原性植生保全活動体験会

9月28日(土)に根原県有地において、静岡県と共催で草原性植生を保全するための草刈り作業体験会を実施し、指導員は特定非営利活動法人富士山自然の森づくりにお願いしました。根原県有地は静岡県版レッドデータブックの今守りたい大切な自然地域10選のひとつに指定されており、これまでもその貴重な生態系の保全管理が行われてきました。

今回は「アサヒ飲料株式会社富士山工場」と「特種東海エコロジー株式会社」の御協力により、飲料やトイレトペーパーの提供をいただき、参加者からは感

謝の声が寄せられました。

当日は21名のボランティアが参加し、個人の方々のほか、アサヒ飲料株式会社富士山工場の皆様、常葉大学学生の皆様が参加しました。使い慣れない下刈り鎌を用いた作業でしたが、約0.5haもの面積を刈り取ることができました。お昼休憩後には、富士山自然の森づくり会員から、草原の成り立ちや、草原特有の生物相の説明、植物の実物の紹介がありました。

閉会式では同会の仁藤浪理事長から講評をいただき、草原性植生保全活動への協力へのお礼と、草刈り継続の必



要性について説明がありました。講評を聞いた参加者は、「来年度もこの活動に参加したい」と非常に意欲的でした。

写真は事前説明(左)、草刈り作業(中央下)、講習会(上)、記念写真(右下)



富士山を外来種から守ろう! 令和元年度第1回外来植物撲滅大作戦

本年度は、外来植物が開花し種子を散布する前に除去することを想定し、6月29日(土)に第1回目を開催しました。講師には富士自然観察の会を迎え、公募されたボランティア26名が富士山麓山の村で外来植物に関する講習会を受講した後、西臼塚駐車場に移動して実際に除去作業を行いました。

当日は小雨に見舞われ、活動に万全な天候とはいえませんが、参加者

一丸となって「シラゲガヤ」を中心に除去作業を実施しました。シラゲガヤは生態系被害防止外来種リストには記載されていませんが、西臼塚駐車場で広く繁茂している外来植物です。すでに花穂が始めているので、結実する前のこの時期に除去したことは、非常に効果的であったと思います。

除去成果は、32個ものごみ袋が満杯になるほどであり、推定で約224kg程



度除去できました。参加者からは、「やりがいのある作業だった」、「来年、どのくらいシラゲガヤの発生が少なくなればいいか楽しみ」などの感想があり、環境保全意識を高揚するイベントとして有意義なものになりました。

写真は事前講義(上)、作業時(右下)、除去した外来植物との記念撮影(左)



Welcome



Join Us

「ふじさんネットワーク」 会員募集中!

Check!

「ふじさんネットワーク」は、その活動を通じて、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを目的とします。富士山の環境保全活動を行うグループ、自然保護団体、NPO、企業、マスコミ、行政等による会員制のネットワーク組織ですが、富士山を愛する人なら個人でも登録ができます。

入会費・年会費 無料

特典

- 「ふじのくにネットワーク」の冊子が届きます
- 登録するとメールマガジンが届きます
- シンボルマークが使えます



「ふじさんネットワーク」の取り組みなどはホームページから見るができます。

<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

300円からの寄付で
ピンバッジがもらえます!

「富士山総合環境保全指針」と行動規範としての「富士山憲章」の周知・定着を図り、富士山の環境保全への関心を高めもらうため、ふじさんネットワークの環境保全活動への寄付を募るとともに、富士山ピンバッジを配布します。

富士山の雲シリーズ THE CLOUD SERIES

■1セット4個組 (大きさ: 各直径32ミリメートル) ■1口: 1,000円以上

直接受取希望: ふじさんネットワーク事務局まで、連絡をした上でお願いします。募金と同時にピンバッジをお渡します。

送付希望: 郵便、電話、FAX又はメールで[1]-[4]の事項をお知らせください。

[1]-名前 [2]-住所 [3]-電話番号 [4]-希望するピンバッジの種類・個数
振込用紙を送付します。振込の確認ができれば、ピンバッジを送付します。
(振込手数料・送料は不要)



こちらも
よろしく!

SAVE Mt.FUJI

■1個 (大きさ: 各直径26ミリメートル) ■1口: 300円以上

花シリーズ

■1セット5個組 (大きさ: 各直径26ミリメートル) ■1口: 1,000円以上



ふじさんネットワーク 2019年10月 vol.59

編集・発行 **ふじさんネットワーク事務局**

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話:054-221-2963 ファックス:054-221-3278

E-mail:3776fujii@pref.shizuoka.jp URL:<http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ふじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘
(特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学客員教授)
- 会員数 546団体・個人 (R1.10.1現在)

※本書の作成には、マックスバリュ東海株式会社、及びハーゲンダッツジャパン株式会社からの寄附金が使われています。